

日本・コンゴ民主共和国文化センター

在コンゴ民主共和国日本国大使館

コンゴ民主共和国で現在運営されている唯一の日本語教育機関は、ゴンベ地区高等教育学院内にある「日・コンゴ民主共和国文化センター」です。平成 23 年度草の根文化無償事業によって建設された同センターでは、設立以来これまでに 300 名を超えるコンゴ人の生徒が日本語を学ぶことができました。

同センターが作られるきっかけとなったのは、慶應義塾大学の長谷部葉子研究室の活動です。当初は、キンシャサ郊外に日本人とコンゴ人の協働によって小学校を建設するプロジェクトとして始動しましたが、一方的な「援助」ではない「協働」の姿勢が当時のコンゴ民主共和国の高等教育大臣に評価され、同国の国立大学と連携して日本語・日本文化を普及するように依頼されました。

2016 年には慶應義塾大学環境情報学部とゴンベ地区高等教育学院の間で交流協定も締結され、それ以来、留学生の受入れ等の人的交流も活発に行われています。

現在、同センターで責任者として運營業務を行いつつ、週に 3 回日本語教師として教鞭をとるのは、日本語クラス一期生の生徒であったコンゴ人のアンドレアス・ムスサ氏です。同氏は、毎年キンシャサを訪れる日本人との出会いを通じて日本に魅力を感じ、優秀な成績を収めて日本での日本語研修に参加し、今では両国の交流の橋渡し役として活躍しています。

また、同センターには、日本語教室のほかに道場が併設され、柔道や空手の教室が開催されています。コンゴ民主共和国では、柔道・空手がサッカーに次いで人気のスポーツとなっているため、日本語を話せないコンゴ人にも「一本」「待て」「押忍」「上段蹴り」といった言葉は通じます。他にも、広い道場を活用した文化イベント、日本語スピーチコンテスト、日本映画上映会などが開催され、キンシャサにおいて日本を紹介する貴重なプラットフォームとなっています。